北陸・信越版

新潟支局　〒950-0087
新潟市中央区東大通
2－2－12
電話・025(246)3834
FAX・025(246)3967

富山支局　〒93
富山市
電
FA

日鉄住金工材

10年間休業無災害を達成

日鉄住金工材（本社・上越市、社長・石川昌弘氏）は11月16日付で10年間休業無災害を達成した＝写真。他社災害情報に基づく安全装置やルール遵守などの全社一斉点検や安全情報の共有化などが有機的に機能している。①5S、リスクアセスメントなどの

職場の「見える化」進む

〝現場実行力〟②新なぜなぜシート活用など組織、個人の問題発見・解決〝力量アップ〟③課題共有、貢献意識向上など〝マインド〟醸成の3つのサイクルで、現場力を着実に高めている。

現場実行力を見える化するために現場基礎力レーダーチャートを作成し、各職場に掲示している。評価項目は「5S・見える化改善・改善提案提出数・力量目標達成率・リスクアセスメント再構築進捗率」の5項目で、総合評価も含めて全社平均と自職場の点数が一目で対比できるようになっている。

「得たい情報をすぐに引き出す」ため、安全・防災、人材育成、改善取り組みなど大分類で15、さらに中分類で45に分けた「情報ポータル」を構築し、安全管理の強い武器になっている。毎月の社長安全巡視時の安全訓練や四半期ごとの見える化巡視は全てビデオ撮影し、コメントを付け編集した動画を情報ポータルに掲載。安全訓練に参加しなかった部門も動画を繰り返し見ることができ、全社員の安全意識向上に寄与している。

安全点検で不具合を発見した場合は、問題発生未然防止を具体的な行動に落とし込むため「新なぜなぜシート」を活用。特徴は不具合発生プロセスを明確にした上で真因と対策を追求するだけでなく、真因から想定される類似事例も明確にして、その対策も同時に講ずること。

「多種類作業時KY（危険予知）ボード」は多能工が多い職場ならではのアイデア。従来の職場共通KYボードに加えて、個人毎に日や作業内容が変わる都度リスクを洗い出し対策と合わせて職場全体で見える化している。

「5S評価表」は整理・整頓などを31項目に細分化し、毎月職場毎に自己評価（5段階で点数化）させる仕組み。現場用と事務所用に分け、社長安全巡視時に前月から改善した内容と評価点を客観的に評価する。

整理・整頓では備品類などについて「断捨離」を実行した（赤札作戦）。「要、不要、保留」の3つに分類し、不要なものは速やかに廃棄、保留の場合も何時までに判断するのかを明記する。